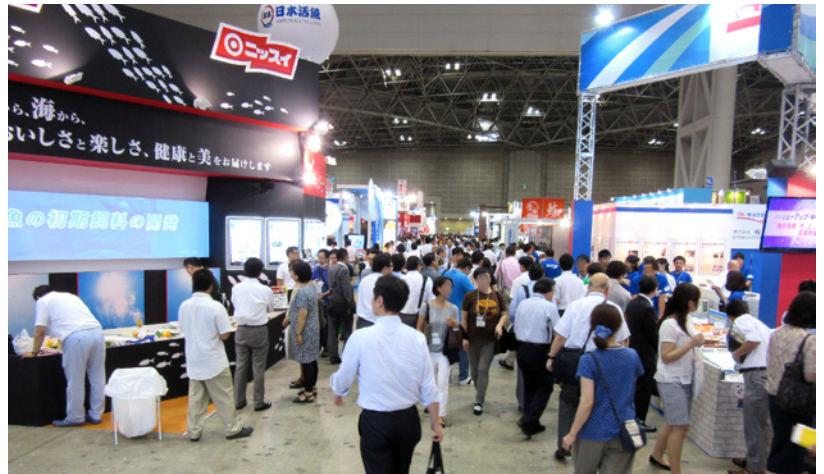


第17回「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」開催

大日本水産会は8月19日（水）～21日（金）、東京ビックサイトにて第17回「ジャパン・インターナショナル・シーフードショー」を開催した。46都道府県、海外18カ国3地域より、合計783社、約7,700アイテムの鮮魚・活魚や水産加工品、寿司種、ニューアイテム等が一堂に介した。来場者数は31,626名で昨年を上回る来場となった。



『にぎりネタ・成形ブロック』

ニチモグループ企業のはねおう(株)では、「にぎりネタ・成形ブロック」を提案。明太子をゼラチンで形成し、にぎり寿司のネタとしても使用できるようにした。たらこ・明太子・ツナマヨの3種類を用意。



『Fish Analyzer』

大和製衡(株)では魚の脂肪率を測定できる製品「Fish Analyzer」を開発。体脂肪計と同じ測定原理で簡単に測定が可能。魚の脂の乗り具合をミエルカすることで、新たなブランド化や消費者への信頼の向上に役立ちそう。